



# 大樹のこころ

## リハビリ期間を経て

2学期が始まりました。今回の校長室だよりは、新学期となって1週間ほどの学校の様子について、お伝えしたいと思います。

岡崎市の2学期の始業式は8月29日(火)でした。10月のキッズデイズがある関係で他の市町に比べて早いスタートです。朝、校門で子供たちを出迎えるのですが、さすがに元気がない。いつもなら明るい挨拶が返ってくるのですが、ちょっと疲れた様子でした。体育館で始業式が行われても、気だるさがあります。完全な「夏休みボケ状態」です。しかし、こうした傾向は例年通り。ここから少しずつ「リハビリ」が始まります。

学期初めには身体測定が行われ、子供たちの成長の確認が行われます。その際に、養護教諭の宮川先生は「一人一人」の子供と面談をしてくれます。夏休みの健康カレンダーを見ながら、子供たちの夏休みの生活の様子や新学期が始まってからの気持ちなどを聞いてくれます。夏休みなどの長期休業後は、心身のバランスを崩してしまう子がいるものですが、そのケアを目的としています。本校の全校児童は583名ですので、とても時間がかかりますが、一人一人に寄り添う宮川先生は、まさに「保健室の女神」です。

9月1日(金)に行われた水泳部選手激励会も、子供たちにとって良いリハビリとなりました。5年生が中心となって企画運営する会ですが、2学期が始まってすぐのことで準備や練習期間がとても短い。どうなるかと心配していましたが、夏休み前から5年生の子供たちや先生方が準備を進めており、スムーズに全校での練習を進めることができました。今年の激励会は、全校児童が体育館に集って行われました。和太鼓に合わせての迫力あるエール。感動的な激励会になりました。

その激励を受けた水泳部は、9月2日(土)の分散記録会で躍動しました。小学校水泳大会分散記録会は市内10ブロックに分かれて開催されます。本校で行われた記録会には、岡崎市の教育長も来校され活気のあるものとなりました。大樹寺小の選手はマナーがとても素晴らしい。レースの前には「お願いします」とプールに一礼してから入水します。競技中にはチームメイトに声援を送り続けます。また頑張っ泳ぐ他校の選手に向けても最後までエールを送ります。スポーツマンシップのある姿をととても誇らしく思いました。記録会の結果でも、北ブロックの部で個人優勝した選手が3名、女子団体が総合2位となりました。

そして9月5日(火)の今日。校内巡視をしていると、活気のある授業がたくさん見られました。どうやらリハビリ期間は終わったようです。12月2日(土)に創立150周年を迎える大樹寺小。これからはギア全開で明るい学校生活を送ることができそうです。

